

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	活動内容に沿って適切な準備を行い、スペースを確保に努めている。	放課後等デイサービスとの多機能型の為、学校休校日等の際は人数が多い日もあることから、その日の利用人数に合わせた療育に努めている。
	2	職員の配置数は適切である	2	3	勤務表を作成し適切な配置を行っている。	職員の配置はできているが、利用人数によっては厳しい状況も見られている為、今後も人員の確保に努めていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2		児童の特性にあわせて配慮はしているも、まだ充分には至っては無い為、引き続き話し合いをしながら改善に努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	2		清潔には充分に気をつけている。活動に合わせた空間にはしているが、充分な確保ができていない箇所もあるので今後も見直しに努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	定期的に会議を設け、職員間の意見交換や情報共有を行っている。	今後も会議を行い、業務改善に努めていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	評価表を実施している。	御家族様から頂いた、意見を職員全体で共有し改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	評価表をホームページにて公開を行う。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現時点で第三者による評価を行っていない為、今後、検討をする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3		外部の研修への参加が実施出来ていなかった為、積極的な外部研修への参加ができるように努めていく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	見学、契約、計画書の更新時等、御家族様からのニーズを聞き取りをしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	全職員が情報の把握に努めている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	職員間で支援会議を行い、適切な支援を実施していけるよう内容を設定をしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	個別支援計画を全職員が確認を行い療育を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	職員間で会議を行い、月間の療育予定表を作成している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	療育予定表を作成する中で活動が同じにならないように職員間で意見を交換しながら行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	個別支援計画を作成する中で支援会議を行い、職員間での情報交換をしながら一人、一人に合わせた支援計画を作成している。	児童の成長に伴い、新たな課題が見つかっていく中で職員間での情報共有に漏れがないように随時把握していけるように努めていく。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	当日の活動予定と利用者の確認を朝のミーティングを行う中で確認している。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	業務終了前の終礼にて職員同士での情報共有を行っている。	報告、連絡、相談に漏れがないよう努力・改善に努めていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	リズム、支援記録を基に行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年に1回を基本に見直しを行い、支援会議を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参加をしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	各関係機関との連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	対象利用児童無し	対象利用児童無し
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	対象利用児童無し	対象利用児童無し
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4		情報共有の機会が少なかった為、機会を増やしていけるよう改善に努めていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4		情報共有の機会が少なかった為、機会を増やしていけるよう改善に努めていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		主に児童発達支援管理責任者が連携をとり、情報共有を行っている。研修を受ける機会を増やしていけるように努めていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3		新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、機会が少なかった為、機会を見ながら実施していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	1	4		新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、会議への参加ができていないことが多かったため、積極的な参加ができるよう環境を整えていけるよう努めていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	リズム、送迎時などに御家族様との情報共有を行っている。	
保護者へ	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		送迎時等に対応しているも、不十分な部分もあると考える。今後も適切な支援を行えるよう努めていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明を行ったり、事業所内に掲示している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	計画書を作成し御家族様に提示し同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時等に御家族様からの相談があった際に対応をしている。また、職員間でも情報共有を行い把握している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	保護者会などを実施している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

の 説 明 責 任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	管理者を中心に相談、申入れの対応を行っている。	相談内容によって時間が掛かってしまうことも見られるため、迅速に対応できるよう、職員間での連絡を早くできるよう改善していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	療育活動予定表、毎月配布し、行事の連絡等を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	鍵付きの書庫にて個人情報の書類を保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	児童に合わせてのコミュニケーションを取るよう努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		感染症の流行に伴い、機会が少なかった為、機会を見ながら実施していく。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	避難訓練等を定期的に行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	御家族様からの情報、連絡を基に職員間で情報共有を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギー表を作成し、日々のおやつ提供などに留意している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	5	身体拘束を行っていない。	身体拘束等の措置が必要な場合は、個別支援計画書の中に記載し、保護者様やご本人様に説明し、同意を得る事とします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。